

開成営農経済センターだより 令和7年1月

TEL 83-5165

開成営農経済センターからのお知らせ

再掲

地域農業応援プログラムの申請締め切りが近づいています！！(正組合員様向け)

令和6年4月より実施しております「地域農業応援プログラム」の申請期限が、令和7年2月28日（一部内容については令和7年2月17日）までとなっております。期限間際となりますと、混雑や書類不備等でご利用いただけなくなる事が予想されますので、お早めの申請をお勧めいたします。

ご不明な点は開成営農経済センターまでお問い合わせください。

予告

令和7年2月11日（火・祝） 肥料や農薬の即売会を行います！！

～ 詳細は開成営農経済センターだより2月号にてお知らせいたします。～

今月の注文書等について

「梅苗木」「春期生産資材」「環境配慮型資材」
※お申し込みのお忘れがないようにご注意ください。

1月の自己取り商品について

「果樹・野菜春肥料」

令和7年1月16日（木）・17日（金）・18日（土）

9:00～15:00の間に取りに来てください。

その他の自己取り商品については、入荷予定が決まり次第、お電話致します。

技術顧問の日
(園芸相談)

農業の専門家が農作業の相談に応じます。
土曜日以外は在籍予定ですが、都合により不在の場合がございます。

お米の日

ご好評をいただいておりますが、昨今の需給状況を鑑み、
1月より中止と致します。

年末年始・営農経済センター・グリーンセンター営業のご案内

○年 末 令和6年12月30日(月) 13時まで営業致します。

○年 始 令和7年1月6日(月) 8時40分から営業致します。

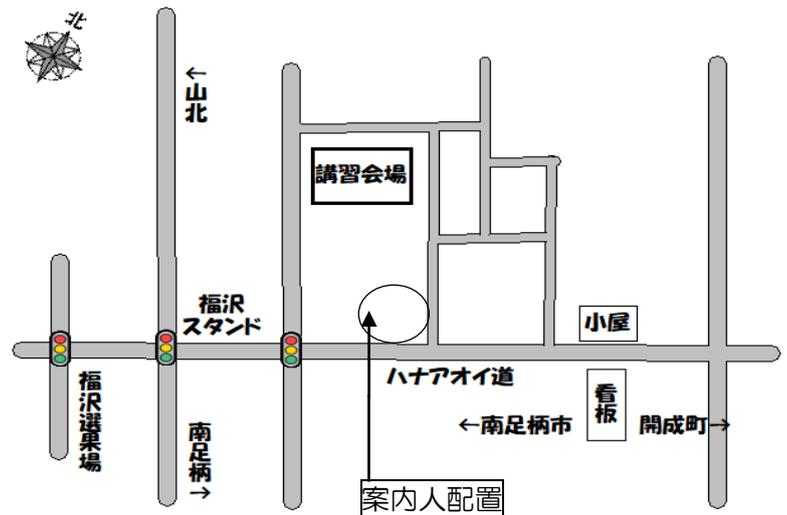
柿剪定講習会の開催について

開催日時：令和7年1月10日(金)
午前9:30~

開催場所：開成町 遠藤成雄氏 園地

※現地集合となります。

場所が不明な方は福沢選果場へ
午前9:15までにお越しください。



作物管理情報

【う め】

病害虫防除

12月~1月上旬

休眠期(落葉後~萌芽前)

○コスカシバ フェニックスフロアブル 200倍 500ml/水100㍓
開花期までに1回 樹幹部及び主枝に散布

開花前

○カイガラムシ類・越冬病害虫 石灰硫黄合剤 10倍 10㍓/水100㍓

1月

○灰星病 開花期始め(2分咲き)~満開期
バルコート水和剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫30日前 3回

※主力品種の開花始めと満開期に防除しましょう。

※ただし、'十郎'を栽培している場合は、'十郎'の開花状況に合わせる。

※灰星病で枯れた枝を開花期まで剪除して、園内に残さない。

整枝剪定

細部(ハサミ)の剪定を1月下旬までには終了させましょう。又、翌年の事を考えて、一年枝は全部取らずに横から出ている弱い枝は残して予備枝の確保をしましょう。太枝のノコギリ剪定が終了していない園は、芽をいためますので早めに剪定をしましょう。

—— 【温州みかん】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。 ——

貯蔵管理 室内温度：3～5℃ 湿度：85%程度が最適の環境です。

貯蔵庫内の湿度が高い時は天気の良い日に開放して乾燥した空気を入れ、湿度が低い時は新聞紙でカバーをするか打ち水をして湿度を保ちましょ。

但し、湿度が高すぎると、予措戻りになり浮皮果になるので注意しましょ。また、0℃付近になると低温障害を起こすため、寒波時は貯蔵庫を密閉しましょ。

また、貯蔵庫内への果実の入れすぎに注意し、貯蔵中に発生した腐敗果は適時取り除きましょ。

* 出荷時の家庭選果を徹底してください。

害虫防除 12月下旬～1月中旬（収穫後、厳寒期をさけて散布をしましょ。）

○ミカンハダニ

○カイガラムシ類

アタックオイル 又はハーベストオイル 又はスプレーオイル
60倍 1.66^{リットル}/水 100^{リットル}

カイガラムシ類が見られた園地では、必ず実施して下さい。

越冬中の虫や卵を油で被覆して窒息させますので抵抗性がつきません。

土壌改良

酸性土壌の矯正 苦土タンカル 200kg/10a（1～2月）

* 葉色の悪い園は微量元素不足が考えられるので、マルチサポート 80kg/10a を施用する。

—— 【中晩柑】 ——

防寒対策と鳥害対策を兼ね、袋がけやネットによる被覆を遅くとも1月中旬までには終了させましょ。

獣害対策として電気柵、鉄網柵を園外周に設置する。定期的にメンテナンスする。

—— 【湘南ゴールド】 ——

病害防除 12月下旬～1月上旬

○貯蔵病害

トップジンM水和剤 2,000倍 50g/水100^{リットル} 収穫前日5回

(青かび病・緑かび病・軸腐病) 又は ベフトップジンフロアブル(劇) 1,500倍 66ml/水100^{リットル} 収穫前日2回

※1月に入りサンサンネット被覆前にベフトップジンを薬剤散布すると、さび症(果皮の褐色)の発生軽減に効果があります。(県農業技術センター試験結果より)

※ベフトップジンフロアブルについては令和7年(2025年)10月に登録失効となりますので、ご注意ください。

—— 【レモン】 ——

収穫後

かいよう病 ICボルドー66D 100倍 1^{リットル}/水100^{リットル}

(アピオンE 1,000倍 100ml/100^{リットル}加用(注文取り寄せ品))

発芽前であればアピオンE、クレフノンの加用は必要ない。

貯蔵

常温保存は、腐れが多いことから冷蔵保存を基本とする。(気温5℃、湿度85%)

冷蔵できない場合は、集荷時期に合わせた収穫を行い、貯蔵期間を極力みじかくする。

【キウイフルーツ】

整枝剪定 12月～2月上旬（樹液が流動する前）

一文字整枝を基本に、主枝・亜主枝を明確にしなが、養分の無駄づかいになる太い枝を出来るだけ減らすことがポイントになります。

ただし、高樹齢樹は樹がいたむので亜主枝の更新は避けましょう。古い側枝（結果母枝）の更新では先追いしないよう亜主枝、主枝に近づける切り戻し剪定を行いましょう。

安定した収量を得るため充実した新梢と本年の結果枝を併用して、1㎡あたり3～4本の結果母枝を配置しましょう。

台風による落葉が多かった園地では、充実した結果母枝を残しましょう。

（また、春の風害を想定してやや多めに結果母枝を確保しましょう）

病害虫軽減のポイント

- ・ かいよう病で暗赤色の漏出した場合は、健全部まで切り戻しましょう。
- ・ 軟腐病の発生源になるので果梗は必ず切除しましょう。
- ・ 剪定後の切口へのトップジンMペーストの塗布（かいよう病の侵入口となるため）
（切口が大きければその日のうちに塗布しましょう）
- ・ 病害虫の発生源になる剪定枝は園外廃棄しましょう。

【イチジク】

荒剪定 12月～1月上旬

樹体を休ませるため、主枝から30cm程度で切り戻しましょう。

3月に挿し木を実施される方は、何本かは長く残し穂の確保をしましょう。

落葉等は病害虫（疫病・サビ病など）の越冬する場所になるので早期に園外へ片付けましょう。

凍害及び主幹日焼け対策 1月～4月上中旬

水が揚がり始めた時に冷気にあたると芽や幹を痛める。特に主枝部分の被害は影響が大きいので防寒する。

主枝を藁で覆ったり、ホワイトトンパウダー（注文取り寄せ品）の5～10倍液を塗布する。

※農薬名に網掛けがあるものは購入時に印鑑が必要となります。

<注意> 農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

・「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。（前日は24時間前）

・「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

※店舗により農薬の在庫状況が異なります。記載の農薬を購入される場合は事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。